

第4講 ペルシア支配の浸透：対立から協調へ

リュディア王国の滅亡

クロイソス（前 560-47 年）

イオニア人や本土のギリシア人に親しまれた

ギリシア文化の受容

多くのギリシア人の訪問

強大な軍事力と経済力・・・一方における征服、他方における金銀の寄贈

アケメネス朝ペルシアの台頭

メディア王国の征服（前 549 年）

反ペルシア連合の結成・・・メルムナス朝リュディア - サイス朝

エジプト - 新バビロニア - スパルタ

イオニア人・カリア人傭兵の供給地

プテリアの戦い・テュンブラの戦い（前 547 年）

ペルシア軍の機動力とロジスティクス

リュディア王国の滅亡

イオニアの宗主権は征服者の権利としてペルシアに

旧来の関係の維持を希望→キューロスの拒否

イオニア人の間に衝撃→抵抗の準備

パクテュエスの反乱に連動（プリエネとマグネシア）

マザレス・ハルパゴスによる征服

軍役と貢税

現実的な征服地統治

旧リュディア王国の統治システムを活用

リュディア人エリートとの登用

属州におけるペルシア人（少数）・・・プレゼンスの希薄さ

イオニアの伝統的貴族社会を利用

イオニア人エリートと利害の一致

イオニアにおける僭主

伝統的貴族社会から充当

僭主を支える貴族集団

ミレトスのタレースの例

門閥の存在

ペルシアとイオニア僭主の連携

ダレイオスのスキュティア遠征の際のイオニア人僭主たちの言動

ヒスティアイオス・・・ダレイオスの側近に

ダレイオスを中心とするエリートたちの忠誠競争

ヒスティアイオスに対するメガバゾスの疑念

敗者の行動（アस्ताゴラスのナクソス遠征失敗）